

## 市内ものづくり企業の力を 世界へ

アクテック株式会社  
代表取締役社長 芦田 知之さん

枚方のものづくり企業をいかに紹介するかだけでなく、新しい視点で市をPRできないか参加企業で知恵を出し合いました。その結果生まれたのが、関西地図を模したアクリルパネル上で枚方を支点(へそ)に関西の名所を置いてバランスをとる「へそバランスー」。枚方は大阪・京都・神戸へのアクセスが良く住みやすい街だと来場者の心に残すことができたと思います。出展をきっかけに気づいた枚方のものづくり企業の多様さとフットワークの軽さを生かし、各企業の力を合わせて世の中のためになる製品をつくってまいります！



# Our Expo, Our Future この街の未来

## 子どもたちが変えていく 枚方の未来

### 子どもたちが医師を目指すきっかけに

関西医科大学 学長 木梨 達雄さん



子どもたちが将来医師を目指すきっかけにと、ヒトの細胞観察体験や縫合キット・VR技術を用いた手術体験などを実施しました。さらに、世界最先端のがん領域における光免疫療法やがん新薬開発、匂いによって免疫機能を活性化する感覚創薬技術など、独自の取り組みを講演や展示で紹介しました。今後も最先端医療に関する研究に取り組み、その成果を積極的に発信して地域の皆さんをはじめ全ての人に健康と安心を届けていきます。

子どもたちが将来医師を目指すきっかけにと、ヒトの細胞観察体験や縫合キット・VR技術を用いた手術体験などを実施しました。さらに、世界最先端のがん領域における光免疫療法やがん新薬開発、匂いによって免疫機能を活性化する感覚創薬技術など、独自の取り組みを講演や展示で紹介しました。今後も最先端医療に関する研究に取り組み、その成果を積極的に発信して地域の皆さんをはじめ全ての人に健康と安心を届けていきます。



### 地球課題の解決に取り組みたい

市立楠葉西中学校 2年生 松葉 隼都さん



私たちは課題解決型学習「PBL」で福祉・防災・職業について考え学んだ成果を万博会場で世界に向けて発表しました。学習で得た「相手の立場を体験することで求めていることが分かる」や「防災には日常からの備えが大事」などの気づきを生かして周りの大人の力も借りながら地球課題の解決に取り組みたいです！

※PBL(Project Based Learning)・・・生徒自ら実社会で解決すべき課題を見つけ解決に取り組み「未来を拓く力」を身につける探求的な学び。

### 子どもたちとつくった カラフルでユニークな未来の枚方

絵本・切り絵作家

たけうち ちひろさん(市PR大使)

自分の住む街の今と将来を考えるきっかけになればと「未来の枚方はどんなまちになっているか」を全8回のワークショップで子どもたちと一緒に考え形にしました。カラフルでユニーク、そして夢いっぱい建物や乗り物から未来は明るく楽しいものでいっぱいだと多くの人に伝えられたと思います。高校生や地域のボランティアも一丸となって協力してくれ、枚方に明るい未来が訪れるという希望も実感しましたね。



### 枚方ゆかりの楽曲でお客さんを笑顔にできた

市立第四中学校 3年生 上村 梨緒さん

市立中学校から公募で集まったバンドで、市テーマソング「この街が好き」や市出身・在住の作曲家・酒井格さんの吹奏楽曲「たなばた」を演奏しました。初対面のメンバーも多く本番まで3カ月ほどでしたが、ミスした際に「大丈夫だよ」と前向きな言葉を掛け合える良いチームになりました。本番ではお客さんがずっと笑顔だったことが印象的で、枚方ゆかりの楽曲で市の魅力がみんなの心に届いていれらうれしいです！



## 掛け算で生まれた枚方グルメ

### 自信作で枚方に触れてもらえた

奥ひら実行委員会 代表 大橋 綾子さん

市内の参加店舗が一丸となって商品を企画して試作を重ね、枚方産の食材を使ったラーメンや包子(バオズ)、くず餅アイスバーなどを開発しました。各食材の個性を引き出した自信作を万博会場でたくさんの人に食べてもらい、枚方に触れてもらえたことがうれしいです。これからも「ひらかた万博」の取り組みにもあるように、今回生まれた市の魅力で枚方を訪れる人が増えるよう活動していきたいです!

牧野愛する商店会 名誉会長 山中 長久さん

商店会では新たな枚方の特産品の創出を目指し、地元産のお米や野菜、果物などを使った商品開発や、市東部地域の農園での研修会実施など、地産地消の推進に力を入れてきました。万博出展を通して枚方の地産地消メニューをたくさんの人に味わっていただき、まちの魅力が伝わったと感じています。創出した商品は新たな枚方の名物として万博閉幕後も展開していき、牧野から枚方を盛り上げていきたいと思ひます。



▲枚方産の大阪黒菜などを使ったラーメンや包子、イタリアントマトを使ったくず餅アイスバー



## 昔と今が溶け合う かき氷でおもてなし

一般社団法人くらわんか  
観光マネジメント  
代表理事 井關 拓史さん



枚方は京街道や枚方宿といった歴史を感じる街並みがある一方、駅前再開発で新しいまちづくりが進むなど、古いものと新しいものがちょうど良く混ざり合うまちです。そんな枚方らしい「昔ながら」と「今っぽさ」が絶妙に溶け合う新しいかき氷で、たくさんの人に枚方を知って、興味を持ってもらうことができました。これからもまちの強みや魅力をどんどん発信して、枚方に来てもらえる人を増やしていきたいです!



# みんなで作ろう!

いよいよ閉幕が近づく大阪・関西万博。市では「ひらかた万博」の一環として、市民や地域の事業者が主役となったさまざまな企画で万博会場に出展しました。「枚方を全国にアピールしたい」「未来の枚方を考えるきっかけにしたい」などそれぞれの思いを抱き、万博会場を舞台にアクションを起こした人たちの『私たちの万博』を会場の熱気とともにお届けします。

☎政策推進課 ☎841・1149、☎841・3039

### 枚方の歴史を感じてもらえた

特定非営利活動法人 枚方文化観光協会 熊野 麻貴さん

神奈川県箱根町、静岡県三島市、大阪府和泉市と合同で江戸時代を体感できるブースを出展しました。どうしたら来場者に枚方の歴史を感じてもらえるかを考え、くらわんか舟の模型や菊人形を置いたフォトスポットを設置しましたが「くらわんか」という言葉のルーツや菊人形の認知度が高く驚きましたね。「枚方といえぱくらわんかと菊人形」と思ってもらえるよう、これからもPRし続けていきたいです!



## 交野節を次世代へ

スターダスト河内  
広報部長 嶋田 研志郎さん

開幕日の4月13日に始まり、万博会場では合計11回出演し、河内音頭の源流で大阪府無形民俗文化財(記録選択)の交野節や「#万博音頭交野節編」で枚方の魅力を最大限にアピールしてきました。今後も伝統を守り継いできた先人への感謝を胸に交野節と盆踊りを次世代へ継承しつつ、日本全国でのお祭りの出演などを通じて「新しく懐かしい枚方の名物」として市内外へアピールしていきます!



万博で発信した魅力の数々が  
10月11日に枚方に集結!

10月11日(土)  
午後4時～8時30分

ニッパーク岡東中央・市役所別館北側

# 「また」きてね、枚方。



大阪・関西万博に登場した出演者や展示などが集結します。枚方の伝統である菊人形と番傘がコラボしたフォトスポットも。枚方の魅力を楽しみ尽くしましょう！



午後4時05分から



【この街が好き】  
吹奏楽と歌でつなげる  
枚方家族の輪

公募で集まった市立中学校生徒の合同バンドが、音楽と歌で枚方の魅力を届けます。

午後4時30分から



春日東野幼稚園 万博体操  
スポーツクラブと企画・発案し、大阪・関西万博でも披露した体操を園児たちが踊ります。

午後5時00分から

市PR大使  
上田タカヒロさん  
スペシャルライブ  
上田さんが作詞した市テーマソング「この街が好き」やオリジナルソングを歌います。



## みんなでLet's盆踊り！

万博に出演したスターダスト河内のほか、河内音頭の振興・普及に取り組む八尾本場河内音頭連盟、盆踊りとDJを融合した「盆ジョヴィ」で有名なDJ Cellyが登場し、枚方の夜を盛り上げます。

午後6時40分から

DJ Celly



午後5時50分から

八尾本場河内音頭連盟

午後7時30分から

スターダスト河内

大阪・関西万博に出展したのものも！



政策推進課

大阪・関西万博をきっかけとした「ひらかた万博」では多くの特産品や催しが生まれていますが、これらの原動力は市民や市内事業者による「共創」です。万博閉幕後も共創の輪をさらに広げ、枚方の未来をまちのみんなで創っていきたいと思います。ぜひ、イベントに遊びに来て、出演者の熱意を感じてくださいね！



フード



展示

10月2日(木)～6日(月)  
総合文化芸術センター

コシノジュンコの万博デザイン展



昭和・令和の万博でコシノジュンコさんが手掛けたユニフォームを、会場の様子が分かる写真パネルとともに展示します。▶日時など 10月2日(木)～6日(月)午前10時～午後6時(最終日は午後4時)、総合文化芸術センター本館ひらしん美術ギャラリー。無料。直接会場へ。